

# 第六十回 全日本書初め大展覽会・授賞式

第60回全日本書初め大展覽会・授賞式は、2月25日(日)東京・千代田区の日本武道館において、受賞者・来賓・関係者合わせて約1300名が出席して盛大に開催された。

授賞式では1月5日に日本武道館大道場で行われた席書大会の作品3271点(予選を含む)、国内外からの公募作品1万1213点の中から選ばれた内閣総理大臣賞をはじめとする特別賞、優秀・優良団体賞の受賞者約260名が出席して表彰された。

栄えある内閣総理大臣賞を受賞したのは、中村美月さん(福岡県福岡市立鳥飼小学校4年)、日本武道館大賞には、出井絢菜さん(千葉県流山市立新川小学校5年)が選ばれた。



内閣総理大臣賞を受賞した中村美月さん

## ◇授賞式

授賞式は午後1時から日本武道館大道場で行われた。はじめに高村正彦大会会長(日本武道館会長)が挨拶に立ち、「はじめに、1月1日に発生した能登半島地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げ、被災された全ての方々に心よりお見舞いを申し上げます。本日は、授賞式へのご出席、誠におめでとうございませう。この書初め大展覽会は、武道館竣工の翌年昭和四十年に第一回の席書大会が開催されており、本年度で記念すべき第六十回を迎える、新春恒例の由緒ある大会であります。もう一方の柱である公募の部は、例年同様数多くのご出品をいただきました。厚く御礼を申し上げます。栄えある各賞に輝いた皆様に、心からお慶び申し上げます。今回の受賞を励みに、一層精進され、来年も、さらなるすばらしい作品を書き上げられますことを心より期待いたします。結びに、本展覽会のために、ご指導された先生方、また、ご尽力いただいた関係の皆様方に心から感謝を申し上げます」と述べた。

次に、宮崎活志文部科学省初等中等教育局主



加藤東陽大会審査部長



山谷えり子参議院議員  
(書道国会議員連盟)



宮崎活志文部科学省  
初等中等教育局主任視学官



高村正彦大会会長  
(日本武道館会長)



授賞式で表彰を受ける受賞者



来場者で賑わう展覧会場



山谷えり子参議院議員が作品を鑑賞

任視学官が「本展覧会には、児童生徒や学生の皆さんの素晴らしい作品が数多く出品されたと伺っております。皆さんの日々の努力と研鑽の成果であるこれらの作品は、書写・書道の水準を一段と向上させ、書の伝統と文化の継承・発展に大きく寄与するものです。今後も皆さんが、書写・書道に親しむことを通して、想像力や表現力を一層伸ばしつつ、心身ともに成長し、一

人一人が豊かで幸せな未来を切り開いていけることを心から期待しています」と盛山正仁文部科学大臣の祝辞を代読した。  
続いて、書道国会議員連盟・山谷えり子参議院議員（日本武道館常任理事）が挨拶に立ち、「先ほど展覧会会場でみなさんの受賞作品を見せていただきました。どの作品も本当に素晴らしい文字、立派な力強い作品で感動しました。

今日という日の喜びを体に刻み込んで、また明日からもお稽古に励んでいただきたいと思えます。ご指導くださった先生方や励まし続けてくださったご家族の方、そして切磋琢磨しあったお友達に感謝しながら、これからも美しい書の道を歩み続けてください」と述べた。  
表彰は内閣総理大臣賞から始まり、受賞者の中村美月さんに高村大会会長から賞状と盾が手渡され、会場からは大きな拍手が送られた。引き続き、日本武道館大賞、文部科学大臣賞などの特別賞をはじめ、厳粛な雰囲気の中、各賞の表彰が約2時間にわたり行われて出席した約260名の受賞者が表彰された。すべての表彰が終わり、加藤東陽第60回展覧会審査部長が審査講評を述べた（詳細は20頁）。最後に、受賞者を代表して中村美月さんが謝辞を述べ（詳細は20頁）、閉式となった。  
◇展覧会  
同日、午前10時から午後4時まで、日本武道館小道場で展覧会が行われた。会場には内閣総理大臣賞をはじめ、日本武道館大賞、文部科学大臣賞など特別賞受賞作品325点、特別出品として大会審査顧問の先生方の作品12点が展示された。  
開場と同時に受賞者や家族・関係者約1000名が来場して、自身の作品と並んで記念撮影をする受賞者や受賞作品を鑑賞する姿が多くみられ、盛況となった。